

腎細胞癌、腎盂尿管癌、膀胱癌の予後予測における各種炎症性マーカーの有用性の研究 に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

悪性腫瘍においては、白血球やCRPをはじめとする炎症性マーカーが疾患予後に関連することが報告されています。本研究は、当科で原発巣に対して手術が施行された腎細胞癌、腎盂尿管癌、膀胱癌の症例において、各種炎症性マーカーの疾患予後予測因子としての有用性について研究を行います。研究で得られた結果を他の既存の予後因子との組み合わせることによって、今後の各疾患の診断の精度を高め、治療選択、効果向上にも生かすことを目的とします。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

病歴、血液・尿検査結果、画像検査、病理検査、治療内容とその効果、副作用に関わる情報などを診療データベースから抽出し、後方視的に分析、評価します。

研究に携わる関係者は、個人情報保護法に基づき、研究対象者の個人情報を厳格に保護します(患者さんの名前、生年月日、電話番号など個人情報を直接特定できるような情報の取り出しは行いません)。

対象者・期間

対象者：2005年1月以降に長岡赤十字病院泌尿器科で、腎細胞癌に対して根治的腎摘除術あるいは腎部分切除術を施行された方、腎盂尿管癌に対して腎尿管全摘術を施行された方、膀胱癌に対して経尿道的膀胱腫瘍切除術あるいは膀胱全摘術を施行された方

期間：2019年10月1日～

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。研究結果を学会や論文発表させて頂くことがあります。個人を特定されるような情報が公開されることはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師： 鈴木 一也

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)